

(地域情報発信の強化-N-1)

「みささぎナビ」
(NPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会、阪南大学、
株式会社アスウェル、羽曳野市観光協会、京都フラワーツーリズム)

【概要】

2012年3月から民学産官で準備を始め8月1日に配信を開始した「みささぎナビ」は、百舌鳥古墳群とともに世界文化遺産への登録をめざす古市古墳群のナビゲーションシステム。

主要な機能として「防災情報」「古墳情報」「車椅子で利用できるトイレ情報」「観光情報」などがある。ここでは、「防災情報」「古墳情報」について紹介する。

【コラム】

(1) 羽曳野市、藤井寺市の防災情報

■概要

- ・羽曳野市、藤井寺市の避難施設、福祉避難施設、避難救助拠点、交番の情報です。
- ・ホームページ及びスマートフォンアプリの地図上に分かりやすく表示しています。
 現在地からの経路案内を行いません。また、目的地を写真やストリートビューで見ることができますので、目的地を事前に把握でき、スムーズに辿り着けます。

■社会課題

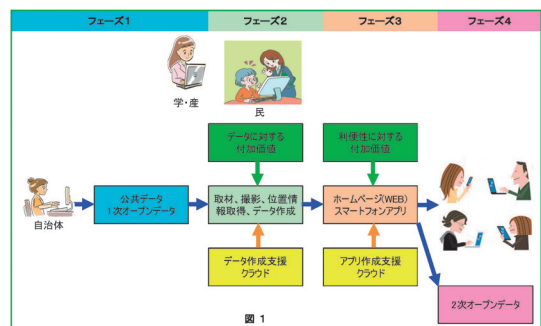
- ・自治体は、紙媒体の防災マップを全戸に配布しているが、近くの避難所がどこにあるのかを多くの住人や移動通過者には知られていない。
- ・多くの住人が防災マップを知っていても、自宅のどこに置いたのかを忘れてしまっている。住んでいる人でも避難所を知っている人は非常に少ない。
- ・一方、観光客やビジネスなどの移動通過者の大半の方は、避難所が分からない。

■自治体が公開している1次情報

- ・羽曳野市 防災マップ(紙MAPとJPG画像)
<http://www.city.habikino.lg.jp/10kakuka/24kikikanri/04bousaimap/files/hazerd07.jpg>
- ・藤井寺市 防災マップ(紙MAPとJPG画像)
<http://www.city.fujiidera.osaka.jp/resources/content/1757/20130820-124100.pdf>

■課題解決への工夫

- 1) 自治体が公開しているMAPをもとに、図1に示す工程作業をおこない、社会的課題に対して高い満足度が得られるようにサービス提供をおこなった。
- 2) データの付加価値
 - ・避難施設の正門を位置情報とし、避難施設の正門の写真を撮影した。
 (理由: 避難所が学校の場合、正門とすることで、スムーズな誘導を実現するため。)
- 3) 利便性の付加価値
 - ・地図上に避難所を全て表示、リストでも表示、各避難所の詳細を写真付きで紹介
 - ・現在位置から選択した避難所へルート案内、選択した避難所をストリートビューで表示
- 4) データ更新の容易性
 - ・データを簡単に作成、更新できるように、データ作成支援クラウドを用意した。
- 5) オープンデータ化



- ・作成したデータを、オープンデータ化し公開している。

(2) 古墳情報

■概要

古市古墳群は、羽曳野市、藤井寺市、柏原市、太子町に大小87基の古墳が現存している。それらのすべての古墳について、ビューポイントの位置情報や学術的見地、現状写真を入力して、ホームページ及びスマートフォンアプリを通して情報の発信を行っている。地図上に分かりやすく表示を行い、また、ストリートビューで目的地を見ることがもできる。事前に目的地を把握することが可能となりスムーズに辿り着くことができるようになっています。

■社会課題

- ・大型古墳のビューポイントや小型古墳の位置がわからない。
- ・古墳へのアプローチや立ち入りの可否がわからない。
- ・墳丘が森に包まれて全体の形がわからない。
- ・古墳の価値や見どころがわからない。

■利用した1次情報

- ・『藤井寺市史・通史編1』(藤井寺市)
- ・『羽曳野市史・本文編1』(羽曳野市)
- ・「百舌鳥・古市古墳群案内冊子」数種(百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議)
- ・『陵墓地形図集成』(宮内庁書陵部)

■課題解決への工夫

- 1) 図1に示す工程作業をおこない、社会的課題に対して高い満足度が得られるようにサービスの提供をおこなっている。
- 2) データの付加価値
 - ・一般の古墳情報については、羽曳野市。
 - ・藤井寺市の公式刊行物ならびに百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議のデータを基に最新の考古学的な知見を加えて適宜編集した。
 - ・天皇陵・皇后陵・皇子墓・皇女墓に治定されている古墳については、宮内庁ホームページに掲載された名称を基にして記述し、墳形の記述においては、宮内庁諸陵部編『陵墓地形図集成』の測量図を参考にした。
- 3) 利便性の付加価値
 - ・地図上に古墳群内に現存する大小の古墳をすべて表示。
 - ・墳丘へのアプローチ、進入の可否や大型古墳のビューポイントを選択・表示。
 - ・個別の古墳について、PDFファイルで詳細な説明を付記。
- 4) データ更新の容易性
 - ・データを簡単に作成・更新できるように、データ作成支援クラウドを用意した。
- 5) オープンデータ化
 - ・作成したデータをオープンデータ化して公開している。

■公開URL[「防災情報」、「古墳情報」などの公開サイト情報]

【Webアプリ】 <http://misasagi.i2navi.net/disaster>

【iOSアプリ*1】 <https://itunes.apple.com/jp/app/id398326620>

【Androidアプリ*1】 <https://play.google.com/store/apps/details?id=net.flowertourism.itournavi>

【2次のオープンデータの公開】 <http://habikino.i2navi.net/>

※1. 「iOSアプリ」と「Androidアプリ」は、「ご当地なび」をダウンロードしてください。

(問い合わせ先)

京都フラワーツーリズム 高木治夫

TEL:090-1133-1358 e-mail:haruo.takagi@gmail.com